

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年3月20日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年3月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	備考
1	<p>【G3西タンクエリア内堰に溜まった雨水移送作業における外堰内への漏えいについて】 G3西タンクエリアの内堰に溜まった雨水の移送作業中に移送ホース吐出側先端が吐出圧力により内堰より外堰側に移動したことで、移送中の雨水(約6.5m<sup>3</sup>)が外堰内に漏えいした。また、外堰内に確認した亀裂部より漏えいした水の一部(約300リットル)が地面に浸透したものと推定。 その後、漏えいした水の回収及び、亀裂部直下の土壌の回収を実施した。 当該雨水の放射能濃度は以下のとおり。 ・セシウム134:16Bq/リットル(告示濃度 60Bq/リットル) ・セシウム137:130Bq/リットル(告示濃度 90Bq/リットル) ・全ベータ:420Bq/リットル(告示濃度 30Bq/リットル) ・トリチウム:検出限界値未満 また、B・C排水路のモニタリング結果に有意な変動はなかった。 亀裂部及び回収した土壌の汚染測定結果はバックグラウンド相当であった。</p>	G II	2018/4/2 再審議結果 G III→G II
2	<p>【2号機使用済燃料プール循環冷却系二次系冷却水の切り替え未実施について】 2号機使用済燃料プール循環冷却系の停止作業終了に伴う系統起動の際に一次系及び二次系冷却水を共にB系運転とすべきところ、二次系冷却水A系からB系への切り替えが未実施であったため、二次系冷却水系統をB系に切り替えた。 なお、二次系冷却水の通水時の使用済燃料プール水の温度は、37.6℃であり、当該設備における最高使用温度(65℃)以下を満足している。</p>	G III	